

2020 年度 授業計画(シラバス)

| 学 科  | 柔道整復師学科 |                 | 科目区分  | 基礎分野             | 授業の方法                   | 講義            |
|--|---------|-----------------|---|------------------|-------------------------|---------------|
| 科目名  | 心理学Ⅱ    |                 | 必修/選択の別   | 必修               | 授業時数(単位数)               | 30 (2) 時間(単位) |
| 対象学年   | 2年生     |                 | 学期及び曜時限   | 後期               | 教室名                     | 第2校舎202       |
| 担当教員   | 橋 美保子   | 実務経験と<br>その関連資格 | 看護専門学校教員23年 看護コミュニケーション担当・龍谷大学社会学修士・天理医療大学小児看護学領域教員(発達心理学・コミュニケーションの発達)         |                  |                         |               |
| <b>《授業科目における学習内容》</b><br>●人間社会において不可欠なコミュニケーションの基礎について学ぶ。●様々な人の心の動きや特徴を知り、自分と周囲の関係のあり様に気づくことができる。●自己理解、他者理解を深め、コミュニケーションスキル獲得のための示唆を得る。●人の健康に直接働きかける専門職として、コミュニケーションの持つ意義を理解する。●自分の言葉やふるまいが人に与える影響を知り、効果的なマネージメントやコミュニケーション方法が理解できる。 |         |                 |   |                  |                         |               |
| <b>《成績評価の方法と基準》</b><br><br>筆記試験50% レポート20% 記録枚講義リアクションペーパー20%講義参加10%   |         |                 |   |                  |                         |               |
| <b>《使用教材(教科書)及び参考図書》</b><br>講義毎に資料配布<br><b>【参考図書】</b> ヒルガードの心理学 第16版 スーザン・ノーレン・ホークセマ, バーバラ・L・フレデリックセン, ジェフ・R・ロフタス, クリステル・ルツ編<br>内田一成監訳 金剛出版<br>心理学・入門 心理学はこんなに面白い サトウ タツヤ, 渡邊 芳之 / 著 有斐閣アルマ  |         |                 |   |                  |                         |               |
| <b>《授業外における学習方法》</b><br><br>配布資料の熟読  |         |                 |   |                  |                         |               |
| <b>《履修に当たっての留意点》</b><br><br>配布資料を参考に、柔道整復師として必要な知識・技術を各自考えてみて下さい。  |         |                 |   |                  |                         |               |
| 授業の方法  | 内 容     |                 |   | 使用教材             | 授業以外での準備学習<br>の具体的な内容   |               |
| 第1回  | 講義形式    | 授業を通じての到達目標     | コミュニケーションの基礎が理解できる。   | PowerPoint<br>資料 | シラバスを確認し事前に参考図書の内容を確認する |               |
|  |         | 各コマにおける授業予定     | ・コミュニケーションの意味・構成要素・フレームワーク・手段(言語的コミュニケーションと非言語的コミュニケーション)・メラビアンの法則・心理学者と理論      |                  |                         |               |
| 第2回  | 講義形式    | 授業を通じての到達目標     | 心の発達がわかる。   | PowerPoint<br>資料 | シラバスを確認し事前に参考図書の内容を確認する |               |
|  |         | 各コマにおける授業予定     | ・精神分析の発達論と発達課題(エリクソン・ハヴィガースト)・感情の発達(ブリッジス)・認知発達(ピアジェ)・成長曲線(心と体の関連)・認識と関係の発達ベクトル |                  |                         |               |
| 第3回  | 講義形式    | 授業を通じての到達目標     | 人の心の動きや状態がわかる。  | PowerPoint<br>資料 | シラバスを確認し事前に参考図書の内容を確認する |               |
|  |         | 各コマにおける授業予定     | 欲求の5段階(マズロー)・自我同一性(フロイト)・コミュニケーションゲーム・認識論の基礎・ジョハリの窓                             |                  |                         |               |
| 第4回  | 講義形式    | 授業を通じての到達目標     | 人の心の動きや状態がわかる。  | PowerPoint<br>資料 | シラバスを確認し事前に参考図書の内容を確認する |               |
|  |         | 各コマにおける授業予定     | ・ストレスについて・心の葛藤・欲求と表現の方法・防衛機構の種類   |                  |                         |               |
| 第5回  | 講義形式    | 授業を通じての到達目標     | 心に現われる様々な症状   | PowerPoint<br>資料 | シラバスを確認し事前に参考図書の内容を確認する |               |
|  |         | 各コマにおける授業予定     | ・精神疾患と不安障害・発達障害・PTSD・心身症  |                  |                         |               |

| 授業の方法 |      | 内 容         |  | 使用教材              | 授業以外での準備学習の具体的な内容       |
|-------|------|-------------|--|-------------------|-------------------------|
| 第6回   | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 心理療法と技法  | PowerPoint        | シラバスを確認し事前に参考図書の内容を確認する |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | ・心理アセスメントの過程・ストレス度チェック・心理療法の概要   | 資料                |                         |
| 第7回   | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 自己理解と他者理解がわかる  | PowerPoint        | シラバスを確認し事前に参考図書の内容を確認する |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | ・自己理解の方法・自己理解のメリット・交流分析(エゴグラムにより自己分析)  | 資料                |                         |
| 第8回   | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | アンガーマネジメントの方法がわかる  | PowerPoint        | シラバスを確認し事前に参考図書の内容を確認する |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | ・アンガーマネジメント手法・アンガーマネジメント手法・自己のアンガーマネジメントを知る  | 資料                |                         |
| 第9回   | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | ヘルスコミュニケーションと医療コミュニケーションがわかる   | PowerPoint        | シラバスを確認し事前に参考図書の内容を確認する |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | ・ヘルスコミュニケーションと健康・医療専門職業人としての手法・ヘルスプロモーション・医療的コミュニケーションの意義と手法(観察・患者のニーズ・患者の特性・評価)・カウンセリング技法 | 資料                |                         |
| 第10回  | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 感情労働とバーンアウトがわかる  | PowerPoint        | シラバスを確認し事前に参考図書の内容を確認する |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | ・感情労働・職業ストレス・バーンアウト(原因・症状・対処法)   | 資料                |                         |
| 第11回  | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | コミュニケーションスキル獲得のための方法がわかる   | PowerPoint        | シラバスを確認し事前に参考図書の内容を確認する |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | ・アサーティブ・NaturalBasedMedicine構成要素   | 資料                |                         |
| 第12回  | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | コミュニケーションスキル獲得のための方法がわかる   | PowerPoint        | シラバスを確認し事前に参考図書の内容を確認する |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | ・コーチング・リフレクティング(学習と構造)・共感  | 資料                |                         |
| 第13回  | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | アサーションを用いたグループワークができる  | PowerPoint<br>資料  | シラバスを確認し事前に参考図書の内容を確認する |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 「理想の柔道整復施術院」設立グループワーク(良い院が持っている3つの条件・条件を満たすための人的・施設条件・安全危機管理)                              | 模造紙<br>カラーペン<br>糊 |                         |
| 第14回  | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | プレゼンテーションが実施できる  |                   | シラバスを確認し事前に参考図書の内容を確認する |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | グループのまとめを10分間で説明、共有と他所の違いを知る。質疑応答  |                   |                         |
| 第15回  | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | いままでの講義内容の知識を理解できている   |                   | シラバスを確認し事前に参考図書の内容を確認する |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 総復習  |                   |                         |